

バシェの音響彫刻とは？

その名が示すとおり、楽器であると同時に彫刻作品でもあるオブジェであり、本学には1970年の大阪万博で展示・演奏されたフランソワ・バシェの制作による作品の内、桂フォーンと渡辺フォーンの2基が展示されています。これらは、2015年マルティ・ルイツ氏と本学美術学部彫刻専攻の学生の手によって修復されたもので、このバシェの音響彫刻の構造と不思議な音色への興味が、本テーマ演習の出発点となっています。

新・音響彫刻プロジェクト

学生と教員が専攻を超えて、実践的な研究活動を行う「テーマ演習」は、本学美術学部独自の横断型教育カリキュラムです。毎年、様々なテーマが設定されますが、その中の一つ「新・音響彫刻プロジェクト」は、昨年度から設定された、学部の枠を越えて音楽学部の学生にも門戸を開放した演習です。

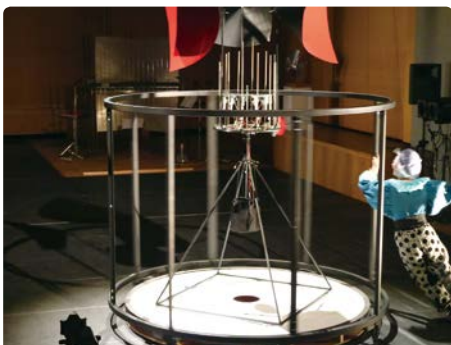
美術学部彫刻専攻の松井紫朗教授と音楽学部作曲専攻の岡田加津子教授の2人が受け持つこの演習は、音の鳴る仕組みや楽器の原理

について学ぶとともに、身体の動きや姿勢と結びつく形状を持つ新しい「楽器」を考案し制作を試みています。

この演習の取組の一環として、昨年度は、バシェの音響彫刻や石のオブジェなどを用いたパフォーマンスとワークショップで「KYOTO OKAZAKI LOOPS 京都岡崎音楽祭 2017 (2017年6月10日, 11日)」に参加。また、バシェの音響彫刻に加えて、本学オリジナルの音響彫刻

を制作し、アルティ・アーティスト・プロジェクト プレ公演「音×彫刻×身体@ALTI」(京都市立芸術大学・京都府立府民ホール“アルティ”共同制作, 2018年3月2日)において、アルティ・ダンスカンパニーとの共演を果たしました。

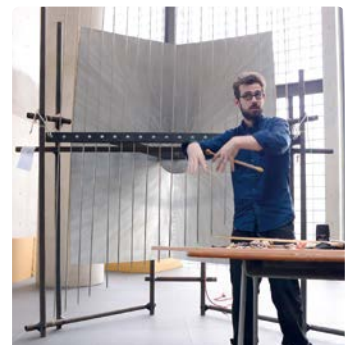
今年度は新メンバーも加わり、アルティ・アーティスト・プロジェクト本公演「音×彫刻×身体@ALTI」(2019年3月9日, 10日)に向けて、準備を進めています。



アルティ・アーティスト・プロジェクト プレ公演「音×彫刻×身体@ALTI」
(京都府立府民ホール“アルティ”/2018年)



KYOTO OKAZAKI LOOPS 京都岡崎音楽祭 2017
(ロームシアター京都2F 共通ロビー/2017年)



マルティ・ルイツ氏による音響彫刻修復プロジェクト
(本学 大学会館/2015年)

Contents

- P.2-3 京芸トピックス
祇園祭「鷹山」衣装完成／第158回定期演奏会／上村昇教授
退任コンサート／小濱妙美教授ソプラノリサイタル／「京の七々」
作品展示／特別授業を実施／ピアノフェスティバル
- P.4 京芸の先生に訊く — 三橋卓講師 (日本画専攻)
- P.5-7 これからのイベントスケジュール
- P.8 新任教員紹介／「ギャラリー-崇仁」オープン／ご寄付のお願い



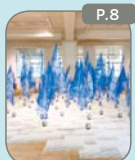
P.2-3



P.4



P.5-7



P.8

Kyogei Topics

京芸トピックス

京都芸大では学生、教員が年間を通じて多岐にわたる活動を行っています。
ここでは学内における最近の主なトピックスをご紹介します。



祇園祭 鷹山「^{ひきこ}曳子」「ちゃりん棒」の衣装が完成!

本学美術学部・大学院美術研究科修士課程の学生が、祇園祭の「休み山」で、2022年の巡行復帰を目指している「鷹山」の衣装等のデザインを、専攻横断型授業「テーマ演習」の一つである「祇園祭の鷹山の復興デザイン計画」において昨年4月から取り組んでいるところです。

この度、「^{ひきこ}曳子」と曳子を先導する「ちゃりん棒」の衣装が完成し、6月3日（日）に鷹山保存会に贈呈いたしました。

なお、この取組は、美術学部の吉田雅子教授が鷹山調査委員会の委員を務めた関係で始まり、祇園祭山鉦連合会及び鷹山保存会の御協力の下、裾幕及び音頭取り等の衣装や小物類のデザイン等を複数年かけて制作する予定です。引き続き、鷹山の巡行復帰に協力してまいります。



《演奏曲目》

- J.ブラームス/交響曲第2番
- ドヴォルザーク/謝肉祭序曲
- モーツァルト/交響曲第31番「パリ」ほか

第158回 定期演奏会を開催

7月9日（月）京都コンサートホールにおいて、第158回定期演奏会を開催しました。今回は、ブラームス『交響曲第2番』をメインに、ドヴォルザーク『謝肉祭序曲』やモーツァルト『交響曲第31番「パリ」』に加え、矢代秋雄『ピアノ協奏曲』を、学内オーディションによって選ばれたピアノ専攻生がソリストとして演奏しました。平日にも関わらず1,000名を超える方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

上村 昇 教授 退任記念コンサートを開催

我が国を代表する著名なチェリストとして活躍する上村昇前教授（現名誉教授）が、昨年度末をもって退任され、6月8日（金）に府民ホールアルティにおいて退任記念コンサートを開催しました。ヴァイオリンの四方恭子教授、ヴィオラの豊嶋泰嗣准教授、ピアノの上野真教授とともにJ. S. バッハやJ. ブラームスなどの曲を演奏し、立見が出るほど超満員の聴衆を魅了しました。



《演奏曲目》

- J.S. バッハ/無伴奏チェロ組曲第5番 短調 BWV1011
- J. ブラームス/ピアノ四重奏曲第3番 短調 作品60

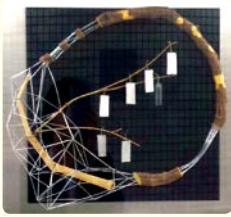


小濱妙美 教授 ソプラノリサイタルを開催



2023年度に予定している京都駅東部への移転を控え、本学の教育研究活動をより広く知っていただくため、移転整備プレ事業と位置づけ、6月19日（火）に京都コンサートホール アンサンブルホールムラタにおいて、小濱妙美教授のソプラノリサイタルを開催しました。

このリサイタルは、教授から教えを受けた本学学生・OBも多数出演し、プッチーニ「蝶々夫人」、ヴァーグナー「ローエングリン」などのオペラのハイライトから独唱まで多彩なプログラムをお届けしました。



二条城前駅に「京の七夕」アートを展示中



京都市の「京の七夕」事業を盛り上げるため、市営地下鉄東西線の二条城前駅構内（※）に本学美術学部デザイン科のアート作品が展示されています。「京の七夕」堀川エリア内の二条城の持つ多様な空間を観察・分析し、二条城の七夕というテーマで立体作品を制作し、学生が自ら設置しました。お近くにお越しの際は、ぜひ学生の作品をお楽しみください。
※改札口から出入口2までの通路壁面（約100m）

ウラディーミル・アシュケナージ氏や五嶋龍氏ほか 世界で活躍中のアーティストによる特別授業を実施

京芸では今年も多くの学外の講師による特別授業を開催し、学生の能力アップに努めています。

5月28日（月）、29日（火）には、20世紀を代表するピアニストであり、指揮者としても世界的に御活躍されており、現在NHK交響楽団桂冠指揮者であるアシュケナージ氏によるオーケストラマスタークラスとピアノマスタークラスの特別授業を開催しました。

さらに6月13日（水）には、アメリカの作曲家チャド・キャンノン氏により設立されたアジア・アメリカ現代音楽協会が、京都国立博物館で開催したコンサートを移転整備プレ事業に位置付け多くの学生が出演いたしました。また、同日公演に参加していた著名なヴァイオリニスト五嶋龍氏によるヴァイオリンマスタークラスの特別授業を本学にて開催し、学生にとって貴重で得難い経験となりました。



ウラディーミル・アシュケナージ氏によるピアノマスタークラス



五嶋龍氏によるヴァイオリンマスタークラス



ギレアド・ミシヨリー氏によるピアノマスタークラス

《特別授業・講座》

- ハンスイェルク・シェレンベルガー客員教授…オーケストラ指導、オーボエマスタークラス・室内楽マスタークラス
- ビョトル・グリヴァチュ氏（ボズナニ美術大学広報課長）…ポーランド美術について
- インゴマル・ライナー氏、ジョセリン・ライナー氏（ウィーン国立音楽大学教授、講師）…オーケストラマスタークラス、室内楽マスタークラス
- ベドロ・ポネット氏（マドリッド音楽院名誉教授）…南蛮音楽について
- ギレアド・ミシヨリー氏（フライブルグ音楽大学（ドイツ）主任教授）…ピアノマスタークラス



第32回 ピアノフェスティバルを開催

6月14日（木）に府民ホールアルティにおいて、ピアノフェスティバルを開催しました。この取組は、学内オーディションで選出された学生による演奏会で、ピアノ専攻の教育成果を市民の皆様へ披露する場として今回で32回目を迎えることができました。2011年からは京都ライオンズクラブ様のご支援をいただいております。今回はドビュッシー没後100年を記念し、ドビュッシーの作品の数々をお届けしました。たくさんのご来場ありがとうございました。



Interview

京芸の先生に訊く。

美術学部
日本画専攻

三橋 卓 講師

昨年度、京都市新人芸術賞を受賞するなど、才能あふれる若手芸術家で、2015年から母校である本学にて教鞭を取っておられる三橋卓講師にお話を伺いました。

Profile

三橋 卓 [みつはし・たく]

京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画修了(2013)。
滋賀県にて美術専任教師を経て本学教員。景聴園を結成(2012)。
第5回京都日本画新展大賞(2013)、第43回創画展創画会賞(2016)受賞。

一 京芸にて教鞭をとることになったきっかけは

大学院を卒業後、すぐに滋賀県の中学校で美術の教師を務めることになったのですが、本当に忙しかったですね。あまり運動が得意ではないのですが、陸上部を受け持っており、休日は朝早くから各地の大会に生徒を引率するなど、多忙な日々を追われていました。そんな生活の中で、「作品を制作したい」、「芸術に深く携わりたい」との思いが常にあり、そんな時偶然教員公募のお知らせを見つけたのが京芸でした。当時は生徒を受け持つクラスの副担任で、美術の授業も一人で担当していましたので、どうすべきか悩みましたが、当時の校長が背中を押してくれたこともあり応募しました。

一 現在の京芸の印象はどうか

卒業後2年しか経っていませんでしたので学校の雰囲気というものは変わっていませんでしたが、学生の雰囲気には少しジェネレーションギャップみたいなものを感じましたね。京芸の学生は真面目でコツコツと制作などに打ち込んでいる学生が多いので、割とスムーズに課題や作品をこなしていく印象を受けました。それはそれで良いと思うのですが、おとなしく見受けられてしまう。もっと「遊び」の意識をもって制作をしてもいいのではないかなとも思います。寄り道も悪くないですよ。

一 芸術家を目指すきっかけは

父親が芸術家ということもあり、子どものころから芸術には触れる機会が人よりは多かったかもしれないのですが、当時から日本画を志して

いたということはなかったですね。高校生の時には、建築家を目指していて、デッサンを学ぶために絵画教室に通ってました。その絵画教室には京芸を目指している人がたくさんいて、彼らに影響され京芸を受けることにしました。京芸に入ってから特に芸術家を目指していたということはありませんが、卒業するころから展覧会等で受賞するようになり、最近になってようやく芸術家としての一歩を踏み出したのかなあと感じています。

一 最近はどのような活動をされていますか

日本の絵画や文化をもう一度考え直しているところです。「西洋画」に対するものとして「日本画」と言われているが、そういうことではなく「日本の絵画とは何か?」。これまでの歴史だったり、当時の思想だったり、宗教だったり、または外国からのいろいろな文化をうまくそしゃくして新しいものとして表現している。それが「日本画」だと思う。そこで私は、自分たちの今生きる世界、日常を表現する手段として作品を描いています。

それと、院生の時に結成した景聴園の活動には力を入れています。

一 景聴園ではどのような活動をしているのですか

学生時代にはいくつかグループ展を開催していたのですが、徐々に今までと違う形態の展覧会をしたいと思い、院生の時に京芸の日本画グループで結成したのが景聴園です。現在は、7人で活動しており、作品の展示だけでなく、数寄屋住宅で展示を行ったときには、そこにあった調度品などを活かした展示を行いました。また、作家が行

う作品紹介であったり、時には会場に学生を集め座談会みたいなものもしたりしました。自分たちは、学生たちに近い世代なので、彼らのモデルケースになると思いますし、どんどん自分たちの活動を発信していきたいですね。

一 学生に期待することはありますか

大学で美術の制作活動をしていても、卒業して就職してしまうと制作活動をやめてしまう人が多いのが残念だと思っています。いろいろ制約はあるとは思いますが、卒業後もどんな形であれ制作活動を続けていってもらいたいです。それで彼らと展示や仕事ができれば面白いなあと思います。

一 京芸通信をお読みの方へ

5年後の京都駅東部地域への移転を控え京芸は変革の時期を迎えています。自分たちの活動だけでなく様々な情報を発信していきたいと思いますので、これからの京芸の動きには注目していただきたいですね。



[個展]

会期:11月20日(火)~25日(日)

会場:ギャラリー恵風

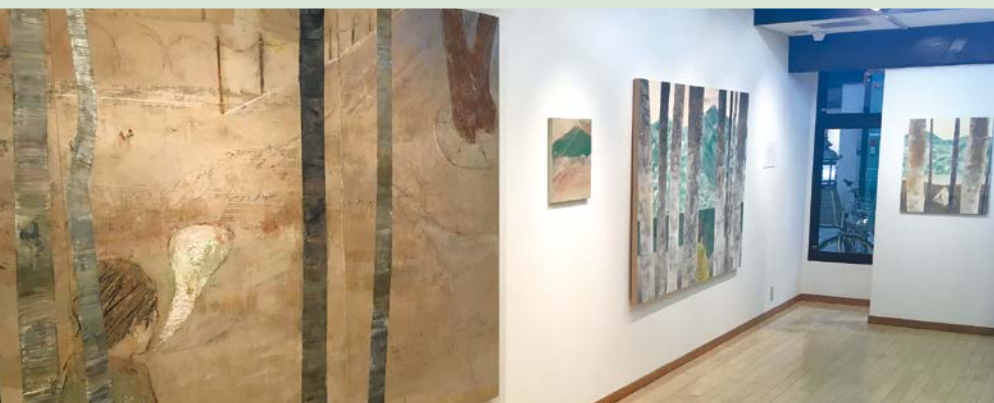
京都市左京区聖護院山王町21-3

[景聴園]

会期:12月15日(土)~17日(月)

会場:小田原町家

京都市下京区室町新町之間五条上る小田原町





**Exhibitions
展覧会**

**平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第3期
「山口華楊 生命の美を写す
—平成 29 年度新収蔵品おひろめ展—」**

会期 6/30 [土] - 8/5 [日] **入場無料**
会場 芸術資料館陳列室

平成 29 年度に新たに収蔵した山口華楊 (1899-1984) の本画、下絵を学内初お披露目。生命の美を見つめ写し出した華楊独自の動物画の世界をお楽しみください。

山口華楊《牛と農夫》1917年



**明治150年・京都のキセキ・プロジェクト
京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展
田村友一郎「叫び声 / Hell Scream」**

会期 7/21 [土] - 8/19 [日] **入場無料**
会場 @KCUA

本展は平成 30 年が明治改元から満 150 年の節目の年に当たることを記念した「明治 150 年・京都のキセキ・プロジェクト」の一環として開催します。美術家の田村友一郎監修のもと、本学の前身・京都府画学校の創立者の一人であり、煎茶道の発展に寄与したことで知られる日本画家の田能村直入の足跡を辿りながら、新たな物語を紡ぎ出すことにより収蔵品の「演出」を試みます。

西山翠峰「虎」(模写・部分)
(撮影: 田村友一郎)



つながる糸 ひろがる布 —三大学染織専攻学生選抜展—

会期 8/25 [土] - 9/2 [日] **入場無料**
会場 @KCUA

東京藝術大学、金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学の3大学染織専攻から選抜された大学院生の展覧会。



2017年 東京藝術大学での展覧会の様子

大谷史乃・長町那美・前田菜月「人工的品」

会期 8/25 [土] - 9/2 [日] **入場無料**
会場 @KCUA

本学美術研究科修士課程工芸専攻出身の3人が本学を修了して数年経ち、改めて工芸と向き合い、制作・展示を行います。



**移転整備プレ事業 教室のフィロソフィー Vol.04
山西杏奈 個展**

会期 9/15 [土] - 9/30 [日] **入場無料**
会場 ギャラリー崇仁

クリスチャン・ヤンコフスキー 個展

会期 9/15 [土] - 10/28 [日] **入場無料**
会場 @KCUA

さまざまな業種の人々との協働作業を通じて、アートの世界とそれとは異なる世界とを接続し、その関係性やそれぞれのあり方を問いかける活動を行うベルリン在住の作家、クリスチャン・ヤンコフスキー氏を招聘し、日本初の個展を開催します。2018年6月の京都でのリサーチや、本学出身の若手作家や学生などを変えたレクチャーパフォーマンスを経て制作された作品を発表します。



2018年6月のレクチャーパフォーマンスの様子

**平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第4期
「京の絵手本—写生と運筆」**

会期 9/18 [火] - 10/21 [日] **入場無料**
会場 芸術資料館陳列室

明治 13 年に京都御苑内に開校した京都府画学校の当時の教員による絵手本を通して、明治期の絵画教育を回顧します。

菊池芳文《藤》1909年



**移転整備プレ事業 教室のフィロソフィー Vol.05
中尾美園 個展**

会期 10/6 [土] - 10/21 [日] **入場無料**
会場 ギャラリー崇仁

**平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第5期
「遷る学舎 画学校から芸大まで
(御苑・吉田・今熊野・沓掛)」**

会期 10/27 [土] - 12/2 [日] **入場無料**
会場 芸術資料館陳列室

本学は 2023 年度、現在の沓掛から京都駅東部への移転を予定しています。140 年近い歴史の中で、本学の校地は移転を繰り返してきました。本展では、それぞれの校舎について、当時をしのぶ写真や資料、その校舎で作られた卒業作品を展示し、校舎跡地の状況や現存する建物などをパネル等で紹介します。



堀真澄《美術工芸学校・絵画専門学校校舎写真》1910年



土田美備《髪》1911年

移転整備プレ事業 教室のフィロソフィー Vol.06

安枝知美 個展

会期 11/3 [土・祝] - 11/18 [日]

入場無料

会場 ギャラリー崇仁

秋山 陽 退任記念展

会期 11/10 [土] - 11/25 [日]

入場無料

会場 @KCUA

本学美術学部工芸科陶磁器専攻の秋山陽教授による退任記念展。



秋山陽「Oscillation II」
51cm × 600cm × 167cm
1989年（撮影：林雅之）

いわゆるかまがさき—所謂釜ヶ崎—

会期 11/29 [木] - 12/9 [日] (予定)

入場無料

会場 @KCUA

大阪市西成区釜ヶ崎で生活する、高度経済成長をささえた、「元」労働者であるおっちゃん達の姿を伝える展示。

第29回 留学生展

会期 11/29 [木] - 12/9 [日]

入場無料

会場 @KCUA

世界各国からの本学留学生による展覧会。本学で学び、独自の作風を切り開く留学生たちの力作を展示します。



昨年度の様子（撮影：大島拓也）

Partition——パーティション

会期 12/15 [土] - 12/24 [月・休] (予定)

入場無料

会場 @KCUA

パーティション（伝話の、「楽譜」、「分離・分割」）のアイデアを、複数の作家の仕事のめぐりあわせの中で展開する展覧会。

松井沙都子「ミニマル・ハウス（仮）」

会期 12/15 [土] - 12/24 [月・休] (予定)

入場無料

会場 @KCUA

住宅の要素を抽出し、抽象的な「家」のインスタレーションにより、一つの「家」をギャラリー空間に展示する。「家」を成立させるための最小単位がどのような姿を見せるのか考察します。



《冬の風景》2016 電気ストーブ、照明器具

状況のアーキテクチャー 関連展示

会期 1/12 [土] - 2/11 [月・祝] (予定)

入場無料

会場 @KCUA

Concerts 演奏会

第8回関西の音楽大学オーケストラフェスティバル

日時 9/24 [月・休] 15:00 開演

料金：一般 1,500円
高校生以下 500円

会場 京都コンサートホール 大ホール

京阪神8つの大学による合同オーケストラ演奏会。ロビーでは大学紹介ブースが並び、音楽大学の魅力を堪能できるフェスティバル。

長岡京記念音楽祭「学生オーケストラの饗宴」

日時 9/29 [土] 15:00 開演予定

有料

会場 長岡京記念文化会館

京都芸大が演奏協力。誰もが耳にしたことのあるオーケストラの名曲をお届けするファミリー向け演奏会。クラシック入門としてもおすすめ。

ハワイエコンサート

日時 11/17 [土] 17:10 開演予定

定員 100名

入場無料

会場 京都国立近代美術館

京都国立近代美術館のハワイエ（ロビー）で開催。演奏者と観客の距離の近さが魅力。



文化会館コンサート I

日時 11/22 [木] 19:00 開演予定

入場無料

会場 京都市北文化会館

毎回一つの専攻がプロデュースする演奏会。各専攻が趣向を凝らした企画は、気軽に楽しくクラシック音楽に触れられるのが特徴。今回は管・打楽専攻。

ウェスティ音暦2 弦楽専攻生によるアンサンブル

日時 12/1 [土] 14:00 開演予定

入場無料

会場 京都市西文化会館ウェスティ

地域の方をはじめとする市民の皆様気軽に足を運んでいただけるコンサート。大人から子どもまで楽しめる親しみやすいプログラムをお届けします。

第159回 定期演奏会

日時 12/9 [日] 14:00 開演予定

料金：1,200円

会場 京都コンサートホール 大ホール

1953年に第1回が開催された伝統ある本学の定期演奏会。京都芸大の力を結集した渾身の演奏会は必聴です。



クリスマスチャリティーコンサート

日時 12/21 [金] 19:00 開演予定

有料

会場 京都市立堀川音楽高等学校 音楽ホール

クリスマスシーズンにお届けする京都新聞との共催によるチャリティーコンサート。

美術学部オープンキャンパス

日時 8/5 [日] 10:00-17:30

事前申込制

入場無料

会場 京都市立芸術大学

学部説明会、学科・専攻説明会、専攻見学、専攻別学生作品・研究内容の展示、各種ワークショップ、個別相談コーナーなど。
*特設ウェブサイト⇒ <http://www.kcua.ac.jp/oc2018/>



音楽学部オープンスクール

日時 10/7 [日] 10:00-17:40 予定

事前申込制

入場無料

会場 京都市立芸術大学

専攻別ガイダンスでの教員・学生との懇談、各専攻のレッスンの見学、職員による個別相談コーナーなど。*詳細は本学 HP で8月中に公表予定

京都市立芸術大学祭

日時 11/3 [土・祝], 4 [日], 5 [月]

会場 京都市立芸術大学

展覧会や学生コンサートのほか、生演奏での臨場感あふれるミュージカルステージや趣向を凝らした独創的な模擬店など、京都芸大ならではの学園祭にぜひお越しください。

今年のテーマは「ぼくらの地球侵略計画」です。外部からではどのような活動をしているのかわからない「宇宙人」のような芸大生が、「侵略計画」の名のもとに美術と音楽を用いて、来場者の方々に芸大生の力をアピールして、芸大や芸大生の活動をもっと知ってもらいたいという思いが込められています。



THE GIFT BOX 2018

アーティストが提案する特別なギフト。

日時 12/22 [土], 23 [日・祝]

会場 京都文化博物館 別館ホール

会場となる京都文化博物館別館ホールを巨大なギフトボックスに見立てて開催されるアートマーケット。クリエイター自身がブースに立ち、制作した工芸品やアクセサリ、雑貨などの展示販売を行うほか、演奏家による無料のミニコンサートも開催。日常よりも少しだけ特別な“ギフト”を是非探しに来てください。



公開講座・研究会など開催中！ 参加自由！

日本伝統音楽研究センター



<http://rcjtm.kcua.ac.jp/>

芸術資源研究センター



<http://www.kcua.ac.jp/arc/>

両研究センターでは、年間を通じて定期的に各種公開講座やセミナー、研究会を開催し、その成果の発表と市民の皆様への還元を図っています。開催情報は、両センター HP、大学 HP 及び SNS 等で随時発信中です。

会場案内 ※各会場へは公共交通機関をご利用ください。

京都市立芸術大学 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

- > 京阪京都交通バス「芸大前」より徒歩すぐ
- JR 京都駅前バス乗場 C2 より 2・14・28 系統乗車 (約 45 分)
- 阪急桂駅東口より 1・2・13・14・25・28 系統乗車 (約 20 分)
- JR 桂川駅または阪急洛西口駅より 11A 系統乗車 (約 15 分)

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 京都市中京区押油小路町 238-1

京都市立堀川音楽高等学校 音楽ホール

- > 地下鉄二条城前駅 2 番出口より徒歩約 3 分
- > 市バスまたは京都バス「堀川御池」より徒歩すぐ

ギャラリー崇仁 (元崇仁小学校内) 京都市下京区川端町 16

- > JR 京都駅中央口より徒歩 9 分
- > 地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3 出口より徒歩 7 分
- > 京阪七条駅 1 番出口より徒歩 6 分

京都コンサートホール 京都市左京区下鴨半木町 1-26

- > 地下鉄北山駅 1 番または 3 番出口より徒歩約 5 分

長岡京記念文化会館 長岡京市天神 4-1-1

- > 阪急長岡天神駅より徒歩約 6 分

京都国立近代美術館 京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1

- > 市バス「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」または「岡崎公園 美術館・平安神宮前」より徒歩すぐ
- > 地下鉄東山駅より徒歩約 10 分

京都市北文化会館 京都市北区小山西上総町 49-2 (キタオオジタウン内)

- > 地下鉄北大路駅 1 番出口より徒歩すぐ
- > 市バス「北大路バスターミナル」より徒歩すぐ
- > 京都バス「北大路駅前」より徒歩すぐ

京都市西文化会館 ウェスティ 京都市西京区上桂森下町 31-1

- > 阪急上桂駅から徒歩約 15 分
- > 市バス 29・69 系統「西京区役所前」より徒歩約 2 分
または 73 系統「平和台町」より徒歩約 5 分
- > 京阪京都交通バス「千代原口」より徒歩約 10 分

京都文化博物館 別館ホール 京都市中京区東片町 623-1

- > 地下鉄烏丸御池駅 5 番出口より徒歩約 3 分

2019年2月以降の主なイベント

■ 展覧会

日時	事業名	会場
2/8[金] - 2/11[月・祝]	2018年度 作品展	京都市立芸術大学 元崇仁小学校
2/16[土] - 3/3[日]	美術学部 同窓会展	@KCUA
2/16[土] - 3/3[日]	前田耕平「パンガシアボンギガス」(仮)	@KCUA
3/9[土] - 3/24[日]	出原司 退任記念展	@KCUA

● 演奏会

日時	事業名	会場
2/6[水] 19:00開演予定	文化会館コンサートII	京都市北文化会館
2/16[土], 17[日] 14:00開演予定	第160回 定期演奏会 大学院オペラ	京都市立芸術大学 講堂
3/9[土], 10[日] 各日開演時間未定	音×彫刻×身体@ALTI	京都府民ホール アルティ
3/21[木・祝] 14:00開演予定	第48回 卒業演奏会	京都府民ホール アルティ

新任教員6名が着任しました。

平成30年度に、美術学部に奥村美佳准教授、磯部洋明准教授が、音楽学部に酒井健治講師、向山佳絵子准教授が、日本伝統音楽研究センターに渡辺信一郎所長、齋藤桂講師が着任しました。



奥村 美佳 准教授
(日本画)



磯部 洋明 准教授
(宇宙物理学)



酒井 健治 講師
(作曲)



向山 佳絵子 准教授
(チェロ)



渡辺 信一郎 所長
(中国古代史, 中国楽制史)



齋藤 桂 講師
(音楽学, 日本音楽史)

部局長の紹介 平成30年度の部局長体制は次のとおりです。

職名	氏名
美術学部長	赤松 玉女 (新任)
美術研究科長	栗本 夏樹 (新任)
音楽学部長	砂原 悟 (新任)
音楽研究科長	山田 陽一 (新任)
日本伝統音楽研究センター所長	渡辺 信一郎 (新任)
芸術資源研究センター所長	柿沼 敏江 (新任)
学生部長・キャリアデザインセンター長	藤野 靖子 (新任)
情報管理主事	阿部 裕之
附属図書館長・芸術資料館長	田島 達也
事務局長	藤本 信和 (新任)

皆様からの御支援をお願いします。

京都芸大の寄付メニュー

京芸友の会

目的：学生活動や教育研究等の充実
 募集対象：個人・法人（団体）
 受入単位：1口2千円
 主な用途：学生及び卒業生等の芸術活動支援
 学生活動の支援など
 特典：オリジナルカードの贈呈
 ＊本学主催の定期演奏会への御招待
 ＊5口（1万円）以上の寄付者に限る

未来の芸術家支援 のれん百人衆

目的：教育研究等の充実
 募集対象：主として地元の老舗企業等
 受入単位：1口30万円×5年※
 主な用途：機材や楽器の購入、演奏会の支援
 など
 ※1口当りの金額・年数については御相談ください。



学長 鷲田清一

皆様から頂戴いたしました寄付金につきましては、学生の教育環境の充実のため大切に活用させていただいております。支援事例や実績につきましては本学ウェブサイト「京都芸大へのご支援のお願い」をご覧ください。



<http://www.kcuu.ac.jp/contribution/>

御支援いただき、ありがとうございました。

2018年上半期中に御寄付をいただいた皆様の内、公表に同意いただいた方のお名前を掲載させていただきます。
 （敬称略・五十音順、京芸友の会への寄付者は法人・団体のみ記載）

京芸友の会 への御寄付

- ローム株式会社

未来の芸術家支援 のれん百人衆 への御寄付

- 伊奈正彦
- 株式会社岡野組 代表取締役 岡野 益巳
- 株式会社聖護院八ッ橋総本店 代表取締役 鈴鹿且久
- 株式会社トーセ 代表取締役会長 齋藤 茂
- 時田アリソン
- 西陣織工業組合 理事長 渡邊 隆夫
- 服部 重彦
- 株式会社細尾 代表者 細尾 真生
- 村山造酢株式会社 代表取締役 村山 忠彦

「ギャラリー崇仁」において「教室のフィロソフィー」開催中！



教室のフィロソフィー Vol.02 河野愛「in the nursery 逸話ではないもの」

2023年度に予定している京都駅東部への移転を見据え、移転整備完了までの期間、移転予定地を中心に、移転の機運を高め、地域との交流を深めていくため、移転整備プレ事業を展開しています。その一つとして、移転予定地に所在する元崇仁小



教室のフィロソフィー Vol.01 雑賀通浩「毎日が良い日タクジラのように深く呼吸する」

学校の職員室を、本学環境デザイン専攻の学生の設計により改修した新たな展示空間「ギャラリー崇仁」において、若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」に取り組んでいます。このプロジェクトでは、本学を卒業あるいは大学院を修了した若手作家を、小学校解体までの2年間、連続して紹介していきます。本年は6月までに3回開催し、9月以降も順次開催してまいります。是非お越しください。

- 第4回 山西 杏奈 (修士課程 漆工修了)
平成30年9月15日(土)～9月30日(日)
- 第5回 中尾 美園 (修士課程 保存修復修了)
平成30年10月6日(土)～10月21日(日)
- 第6回 安枝 知美 (修士課程 油画修了)
平成30年11月3日(土・祝)～11月18日(日)